



校長 長谷川 雄一

学校教育目標 学びを **愉しく** 人と **仲よく** 心も身体も **元気よく**

～ 創立当時の人々の思いを受け継ぎ、世界一のシカゴ日本人学校を目指します ～



笑顔に溢れた運動会

6月8日（日）シカゴの大きな青空の下、第46回全日校運動会が盛大に開催できました。校内のあちこちに飾られたてるてる坊主が、子どもたちに味方したようです。紅白まれにみる接戦となりましたが、勝敗を越えた大きな学びと心の成長が見られた運動会でした。ご来賓、保護者、地域のみなさま、ご協力に心から感謝申し上げます。ありがとうございました。

また、今回はPTAのみなさまからのご配慮でお茶の提供がありました。暑くなりましたので、子どもたちも教職員も助かりました。重ねて感謝申し上げます。



○本校の研究を世界の日本人学校に発信します



6月17日（火） この日は子どもたちを12時に帰し、午後は先生方が研究に特化した会議を進めました。文部科学省・海外子女教育振興財団の研究委嘱を受け、魅力ある日本人学校を創るためにはどうしたらよいかとのテーマで研究を進めています。本校では児童生徒のさらなる学力向上を目指し、探究学習をテーマの中心に置いています。（それ以外にも、英語部との連携、幼小連携を含んでいます）校内に掲示・展示された子どもたちの学習成果物を見ていただければ、その効果はすでに表れ始めています。そして、その学力は単に点数や偏差値では計り知れない奥の深い部分があります。全日校で学ぶすべての子どもたちの未来に必ず花が咲きます。

日本の教育のよさ、すばらしさはご存じのとおりですが、最大の課題は子どもの学習が受け身であること、知識ばかりに重点を置いた評価制度でした。ここアメリカにお住いの保護者の方には、目に見えて比較ができるのでアメリカの教育と日本の教育の長所短所がよくおわかりだと思います。

探究学習は、学習の基礎基本をしっかりと先生が教えます。しかし、さらに子どもたちの興味や関心を膨らませ、主体的な思考力や判断力、そして日本人が最も苦手とされている表現力の向上に繋げていく学習形態です。

この日はロスアンゼルス補習授業校あさひ学園から校長先生が本校の視察に来られました。感想をいただきましたので、ご紹介します。

- ・子どもが主体的に学ぶ活動が確立されている
- ・子どもたちの探究心が鋭い、今求められている学力の問う力が身につけている
- ・しっかりとした日本人としての知恵と見識を持った子どもを育てている

次年度は研究委嘱期間の5年目となります。全世界の日本人学校、日本国内の海外子女教育関係団体、各都道府県教育委員会等に向けて発信するものです。保護者の皆様のご理解とご協力に心から感謝いたします。

◎夏休みを迎えるにあたり

先日、シカゴのリリックオペラハウスでジェフリーバレエ団による公演を鑑賞しました。

内容はもちろんすばらしいものでしたが、驚いたことはその名門バレエ団に複数の日本人の方が所属されていました。その中の2人の男性ダンサーにお話を聞く機会がありました。お二人とも20代の半ばですが、すでにこのバレエ団に10代から所属し、同じ日本人として誇らしいしっかりとした若者でした。そして、この世界でプロとしてやっていこうと意識し始めたのは、中学生の頃のようなようです。義務教育段階の9年間は人生の針路を定めていくための大切な時間であることをあらためて実感しました。

まもなく子どもたちが楽しみにしている夏休みに入ります。疲れた身体を癒すとともに、有意義な生活ができるよう、保護者のみなさまにはよろしく願いいたします。

最後に、14日にはアーリントンハイツの公園でも大きなデモ集会が開かれました。現在、アメリカでは何がおきても不思議ではない状況に入っています。（校長としての認識です）子どもたちが安全に過ごせるように願っていますが、もし万が一事件や事故等に巻き込まれた際には、学校にご連絡をお願いします。緊急でない場合は、8月20日の2学期始業時でもかまいません。なお、学校は双葉会として学校閉鎖日を設けていますので、この間は校内に教職員は不在となります。学校閉鎖日7月28日（月）～8月1日（金）

本帰国されるみなさまにおかれましては、これからのお子様の成長と活躍を心からお祈りいたします。そして多くの子どもたちの笑顔と8月20日に再会できることを心から願っています。子どもたちの思い出に残るすばらしい夏休みとなりますように！